

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	留学生	
日 本 語 (Japanese language)	担当教員	古川 理沙 (Furukawa , Risa)	
	教員室	学生共通棟 1 階 非常勤講師控室 (TEL : 42-2167)	
	E-Mail		
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 履修単位 / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (50 分)〕 × 30 回		
〔本科目の位置付け〕 主に書き言葉を中心に、伝えたい内容がより伝わりやすくするためにどうすればよいかを学ぶ。			
〔学習上の留意点〕 講義の内容をよく理解するために、毎回、復習をすること。理解状況を把握するために、前期は單元ごとの小テスト、後期は文法練習や作文の宿題を課す。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. アカデミックワード	2	☐ アカデミックワードと日常語の区別ができる	各授業内容について、教科書や文献・インターネットを使って、概略を勉強しておく。
2. 仮名遣い・送り仮名	2	☐ 仮名遣いの基礎を理解する	
3. 句読点	2	☐ 正しい・効果的な句読点の打ち方を学ぶ	
4. 四字熟語・ことわざ	2	☐ 日常生活でよく用いられることわざ表現等を理解する	
5. 漢字の使い分け	2	☐ 漢字表記のルールを学ぶ	
6. 見やすい表記	4	☐ 読み手の立場に立った見やすい表記ができる	
7. 敬語	4	☐ 敬語の種類を学ぶ	
8. 手紙	2	☐ 基本的な手紙・はがきの書式を学ぶ	
9. Eメール	2	☐ Eメールのマナーや書き方などを理解する	
10. あいまいな文	2	☐ 伝えたいことと伝わることのギャップに気付く	
11. 分かりやすい語順	2	☐ 聞き手が、より理解しやすい語順について考える	
12. 長い文を分ける	4	☐ 要点を意識しながら、文を再構成することができる	
〔教科書〕 『大学生のための 日本語表現トレーニング ドリル編』三省堂 『コミュニケーションのための日本語発音レッスン』スリーエーネットワーク			
〔参考書・補助教材〕			
〔成績評価の基準〕 <前期> 平常テスト (100%) -授業態度 (最大10%) <後期> レポート・宿題 (100%) -授業態度 (最大10%)			
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕 1-a, 2-a			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕			
〔JABEE との関連〕			